

おおたけ OTAKE CITY

市議会だより

2016
(平成28年)

5

No.185

春
う
ら
ら

～議会報告会を開催します～

平成28年5月、市内各地で議会報告会を開催します。

議員が地域にお伺いして、議会活動を直接報告し、市民の皆様との意見交換を行います。

多くの皆様のご来場を心よりお待ちしております。

日時等の詳細については、15ページに掲載しています。

◆第1回定例会	2ページ	◆一般質問	10ページ
◆予算特別委員会	4ページ	◆議会日誌	14ページ
◆審議結果表	8ページ	◆議会報告会のお知らせ	15ページ
◆陳情／請願	8ページ	◆6月議会日程	15ページ
◆特別委員会の活動	9ページ	◆スマイルインタビュー・あとがき	16ページ

第1回 定例会

総務文教委員会 主な審査内容

●平成27年度大竹市一般会計補正予算(第3号)

解説

歳入・歳出にそれぞれ25,579千円を追加するもの

【歳入】

・地方創生交付金

24,000千円ほか

【歳出】

・小方まちづくり基本構想策定業務委託料等 24,000千円

・玖波小学校改築に要する経費

△195,381千円ほか

Q 地方創生加速化交付金2千4百万円は、「JR新駅立地検討業務委託料」、「小方地区道路整備概略設計業務委託料」、「小方地区まちづくり基本構想策定業務委託料」の3事業であるが、発注時期と工期について問う。

A 駅の位置と道路の配置がある程度固まってきたから議論が密になってくると思われる。駅と道路の業務委託料発注については、4～5月頃を目

指したい。駅と道路については28年度、まちづくり構想については2～3年かけて構想を練っていくものと考えている。

Q 3事業の業務策定委託について、学校跡地をどうするのか、また、駅と道路の付け替えなど事業の方向性はいつ頃示されるのか。岩国・大竹道路の事業と同時進行でないかと難しいと考えるが、事業の整合性について問う。

A 岩国・大竹道路の市道付け替えはほぼ固まりつつある。学校跡地に市道の計画を入れていくと時期的に整合性が合わないが、国が設計している市道付け替えの線形は生かしながら、小学校跡地の市道計画は入れていきたい。まだ不確定要素が沢山あるが、手戻りが無いよう早めに道路設計についても検討していきたい。

小学校跡地利用については、議会からも案が出されており、市の内部でもある程度の案ができています。それらをもとにまちづくりを検討し何らかの絵を28年度中には示したいと考えている。

●あたたかあたたか基金条例の制定について

解説

駐留軍等の再編による影響を受ける阿多田住民の生活の安定のために基金を造成する目的で条例を制定するもの

Q 基金の額を2千万円にした根拠を問う。また、長期にわたって阿多田住民の生活の安定に役立てると解釈できるのか、それとも時限的なものか問う。

A 基金の額は当面必要な額であり、今後必要な額は積み増しできると考えている。時限的な制度とは考えていない。基金を安定して続けられるよう財源確保の努力をしたい。



●議会の議員の議員報酬および費用弁償等に関する条例の一部改正について

●特別職の職員で常勤のものとの給与に関する条例の一部改正について

※起立採決の結果、2件の議案は、原案のとおり可決

※そのほかの11議案については簡易採決の結果、原案のとおり可決



【反対討論】

○「人事院勧告は、公務員に対するものであるが、景気の先行きが不透明な中、議員期末手当を12月に遡って増額支給することは市民の理解を得られないため反対」

【賛成討論】

○「これまでの市議会の現状においては、金額の上下に関係なく人事院勧告というものさしに倣うことがよいのではないかと思つたため賛成」

本会議での採決の結果

原案のとおり可決

第1回定例会は、平成28年3月2日～3月25日の24日間行われました。
 詳細については、平成28年6月上旬に本会議録が製本されますので、市ホームページ、
 市情報公開コーナー、図書館等でご覧ください。

生活環境委員会 主な審査内容

●大竹市附属機関設置に関する条例の一部改正について

解説
 子ども・子育て支援法に基づき、大竹市子ども・子育て会議を設置するため、条例の一部を改正するもの。

Q 頻繁に開催し実りのある会にしたい。また考えについて問う。

A 子ども・子育て会議は、子ども・子育て支援法に基づく法定の会議である。定期的な開催は、年に2回ということ考えているが、必要性が生じた場合は、この会議を活用しご意見を賜りたい。



●大竹市乳幼児等医療費支給条例の一部改正について

解説
 現在、満12歳に達する日以後の最初の3月31日までの間にある者への医療費の助成を満15歳まで拡充するとともに、受給資格対象者の所得制限を撤廃するため、条例の一部を改正するもの。

Q 7月1日からであるが4月1日から施行できなかったのか問う。

A 現状のシステムを、中学生まで抽出するように変更する必要がある。平成28年度当初予算で契約システムを変更するため、4月1日からの施行が難しい状況である。

Q 本来ならば、こういう制度は国が責任を持つべきだと考える。全国市長会でも機会あるごとに、国の責任において乳幼児医療費助成制度を実施してほしいという要望を重ねていると理解しているが、現在の対応はどうなっているのか問う。

A 市長会としても、平成28年度国の施策及び予算に関する決議、重点提言で、強く要望をしているところである。

●大竹市国民健康保険条例の一部改正について

解説
 賦課限度額の総額を85万円から89万円にし、また、5割軽減者と2割軽減者の軽減判定所得基準を引上げるため、本条例の一部を改正するもの。

Q 5割軽減、2割軽減の対象世帯の数について問う。

A 平成27年度当初賦課の保険料率を当てはめ計算すると、5割軽減に該当する世帯は、19世帯増えて685世帯となる。2割軽減に該当する世帯は、2世帯増えて600世帯となる試算をしている。

●大竹市水道条例の一部改正について

解説
 料金及び水道メーターに係る債権管理の適正化を図るため、民法の規定による消滅時効が完成した債権について放棄ができるよう本条例の一部を改正するもの。

Q 債権を放棄するということがあるが、件数と金額、及び、いつからの債権が放棄になるのか問う。

A 平成15年以降で、件数は約350件、金額は約250万円となる。

Q 条例を改正し、上下水道局だけの判断で債権を放棄するという発想である。今でも議会が議決すれば放棄することが可能であるが考えを問う。

A 地方自治法第96条で、債権放棄は議決事項となっている。なぜ条例で規定するのかと言えば、債権の放棄を議会ではかる場合、通常は案件ごとに議案として挙げ審議いただくことになる。ただし条例で決めておけば職権で行うことができ、議会には決算等で報告することになると考えている。

●その他の議案 8件

※採決の結果、すべての議案が原案のとおり可決



本会議での採決の結果
 原案のとおり可決

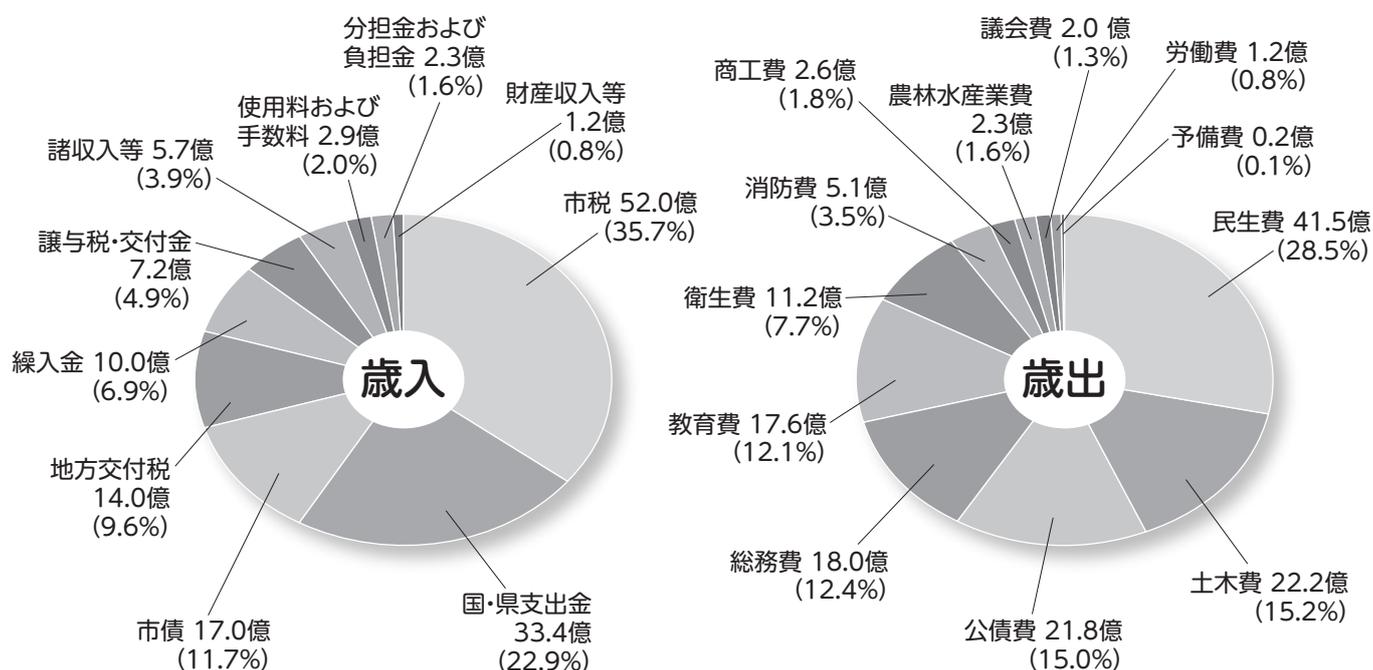
平成28年度 予算案を審査

一般会計		145億7,291万4千円
特別会計	国民健康保険	44億2,774万円
	漁業集落排水	3,184万6千円
	農業集落排水	4,835万9千円
	港湾施設管理受託	4,932万6千円
	土地造成	3億3,010万6千円
	介護保険	26億7,261万4千円
	後期高齢者医療	4億3,296万8千円
	合計	79億9,295万9千円
企業会計	水道事業	7億1,231万2千円
	工業用水道事業	10億3,323万7千円
	公共下水道事業	16億7,229万1千円
	合計	34億1,784万円
総額		259億8,371万3千円

3月定例会において提案された、平成28年度各会計予算は、3日間(3月14日～3月16日)にわたり予算特別委員会において慎重に審査した結果、総額259億8,371万3千円(企業会計を含む)を可決しました。

平成28年度の主要事業と、審査における質疑及び答弁の一部をご紹介します。

一般会計当初予算内訳(総額145.7億円)



主要事業の一部



新規

空家対策事業 (3,872千円)

空家等対策の推進に関する特別措置法の制定に対応するため協議会を設置し、空家等対策計画を作成する事業。

新規

商店街等振興奨励事業 (1,000千円)

平成27年度に大竹市商店街連合会に委託して実施した地方創生商店活性化事業「ワークショップ」で出たアイデアや意見を参考にして、大竹市商店街連合会、大竹商工会議所等と連携して商工振興策を展開する事業

拡充

こども医療費助成事業 (79,345千円)

乳幼児等医療費の自己負担額に対する一部助成対象の年齢を、中学生相当の年齢に達した者までに拡充すると共に、全対象世帯の所得制限を撤廃します。受給者証の名称は、「こども医療費受給者証」に変わります。



新規

あたたかあたたか基金事業 (24,717千円)

駐留軍等の再編の影響を受ける地区(阿多田島)住民に対する支援を行います。地元郵便局窓口においての住民票等各種公的証明書の交付事業、妊産婦への妊婦健康診査や出産の際の交通費(船賃)の助成事業、高校生のフェリー一代相当額の助成事業、高齢者へのフェリー一代の助成事業など



新規

ふるさと納税促進事業 (10,000千円)

寄附(ふるさと納税)の促進や市のPRを目的に、一定額以上の寄附者に対して、市の特産品を返礼品として贈呈します。



阿多田島近海で獲れたカタクチイワシのイリコ(特産品の一例)

新規

浸水対策事業(立戸地区) (2,500千円)

立戸地区内の浸水による被害の縮小を図るため、雨水排水施設の整備について、調査設計を行う事業。

予算特別委員会での
質疑・答弁

●小方橋北詰交差点の
渋滞について

Q 小方橋北詰交差点の信号は歩車分離型で大変渋滞している。交通安全の観点から仕方ないことだと思いが、どのように考えているのか。

A 平成27年5月中旬頃に警察が信号の時間を調整したと聞いている。安全になったという声もある。通学時間だけ歩車分離にならないか聞いてみたが難しいということだった。



小方橋北詰交差点

●市の福祉に関する
取り組みについて

Q 障がいのある子の親にとつて、子供の将来が心配である。グループホームを作るなど、市と社会福祉協議会が一体となった取り組みはできないか。また、さつき作業所の雨漏りや、耐震改修など、福祉に対する考えを問う。

A さつき作業所の問題やグループホームのことを含め地域生活支援拠点をどうしていくかについて、地域自立支援協議会の地域生活部会これから当事者や関係者で協議していく。

●こども医療費助成の
拡充について

Q こども医療費助成の中学生までへの拡充について、一部負担有りと無しの差額は、また一部負担有りにした経緯を問う。

A 中学生まで一部負担有りの場合は追加費用1,100万円程度、完全無料の場合は4,200万円程度となり、差は3,100万円である。無料にすると受診回数が増加する懸念もある。

●ごみの広域処理について

Q 廿日市市との可燃ごみ広域処理について、経費の面からみれば中継施設を作らずに、パッカー車で直接、廿日市市に搬入するほうが良いのではないか。

A そうすると大竹市の2トンパッカー車約15台で廿日市市へ搬入することになる。廿日市の市民感情に配慮し10トンのパッカー車で1日3回程度の搬入とした。

●御園6号棟の建設について

Q 高さを考慮すると冬至の日には日が当たらない部屋もある。土砂災害は対策を行うが、日照は考慮されていない。なぜ急いで条件の悪い場所に建設するのか。

A 過去の住宅計画から、この場所ということで準備を進めてきた。入居者へのアンケートでは77%の方が6号棟への入居を希望されている。入居されないようならば、使い方を工夫する。

●阿多田防災コミュニティ
グラウンド整備工事について

Q 阿多田防災コミュニティグラウンド整備工事とは。以前計画していた阿多田外深浦地区防災公園はどうするのかを問う。

A これは旧阿多田小学校グラウンドを災害時の一次避難場所に整備するもの。平常時は住民のコミュニティグラウンドとしてスポーツやレクリエーションにも使える。外深浦地区については休止中であるが、防衛局と中止に向けて協議をしている。

●市立中学校の
推薦基準について

Q 市立中学校の高校への推薦基準は。また、中学1年生、2年生時の問題は関係するのかを問う。

A 学校によって違いはあるが、基本的には『社会のルールが守れる。学力面においてある程度の力を有している』との基準がある。3中学校とも中学1、2年生時の問題は推薦の基準にしておらず、3年生時の問題のみ推薦にとりあげる。

●あたたハマチおレモンについて

Q あたたハマチおレモン事業をどれくらいまで全国に広げていくのか、また事業として成立するのか。



A あたたハマチおレモンは、各方面からおいしいと評価をいただいているが、現況は、補助事業であり、平成28年度からは生産者の事業として成立するよう考えている。

行政としては、大量消費につながるよう例えば給食で利用する等考えている。

●市指定給水装置工事事業者の登録について

Q 市指定給水装置工事事業者は98社ある。工事店の所在地は大阪や横浜も含まれているがなぜか。

A 事業者の指定要件に、営業所の所在地は含まれていない。新築工事等の際に登録する市外業者が多い。

●防鹿地区の

下水道工事について

Q 防鹿地区において下水道工事が進められており、平成30年度完了と聞くが、進捗状況を問う。

A 概ね順調に進んでいる。防鹿地区が完成すれば、下水道計画区域において整備が終わる。

●ふるさと納税について

Q ふるさと納税の取り組みについて理念をもって集めるという考え方を研究したのかを問う。

A 返礼品でふるさと納税を募ることとはしてこなかった。このたび地方創生事業推進の財源として、また返礼品により市内産業の振興を図り、市の魅力を発信するという思いで、ふるさと納税返礼品の取り組みを進めることとした。



栗谷産ヒノヒカリ (特産品の一例)

委員会での討論

一般会計

【反対討論】

○全体的に厳しい中での予算であるとの理解はしているが、一般会計が関連した事業で、係争中の件もあり、反対せざるを得ない

【賛成討論】

○行政財政運営に関しての、しっかりとした心構えや、人事評価制度等に対する決意についてもしっかりと果してもらえると感じ賛成

土地造成特別会計

【反対討論】

○一般会計での反対討論と同様の理由により反対

【賛成討論】

○小方ヶ丘の日常の生活の中で、ストック効果、成果が順調に育つことを期待して賛成

※委員会での採決の結果、

全会計とも原案のとおり可決



本会議での討論

【反対討論】

○大願寺公募売却で業者の意向を受け公募期間中に募集要項の変更をしたと本会議で市長が認めた。土地会計と一般会計に反対。大竹小卒業式別れの言葉「マジ、ガチ」を見習うべき

【賛成討論】

○第5次総合計画にあげる笑顔元氣輝く大竹を目指して、地方創生事業を推進する計画も盛り込まれている予算である。土地造成会計に関しては住宅地もほぼ完売し大成功だ

本会議での採決の結果

全会計とも原案のとおり可決

予算特別委員

委員長
副委員長
委員

山崎 孝一
網谷 芳年
末田 和弘
大井 井芳
藤井 公馨
寺岡 実穂
田中 穂

第1回市議会（定例会） 議案の審議結果表（主な議案）

議案など	児玉朋也	末広和基	賀屋幸治	北地範久	西村一啓	和田芳弘	大井 渉	網谷芳孝	藤井 馨	山崎年一	日域 究	細川雅子	寺岡公章	原田 博	田中実穂	山本孝三	審議結果
認第1号	平成28年度大竹市一般会計予算	—	○	○	○	○	●	○	●	●	●	○	○	○	○	●	原案可決
認第6号	平成28年度大竹市土地造成特別会計予算	—	○	○	○	○	●	○	●	●	●	○	○	○	○	●	原案可決
議案第19号	議会の議員の議員報酬及び費用弁償等に関する条例の一部改正について	—	○	○	○	○	○	○	○	●	○	○	○	○	○	●	原案可決
議案第20号	特別職の職員で常勤のもの給与に関する条例の一部改正について	—	○	○	○	○	○	○	○	●	○	○	○	○	○	●	原案可決
議案第36号	平成27年度大竹市一般会計補正予算（第3号）	—	○	○	○	○	○	○	○	●	○	○	○	○	○	●	原案可決
平成27年陳情第4号	「高齢者が地域で活躍できる場の拡大に取り組むシルバー人材センター」への支援に関する陳情	—	○	○	○	○	●	○	●	○	●	○	○	○	●	○	採択
平成28年陳情第1号	大竹駅東口広場整備事業の早期実施についての陳情	—	●	●	●	●	●	●	●	●	●	●	●	●	●	●	不採択

この表は本会議で採決のあと、本人の申告にもとづいて作成したものです。 —：議長 ○：賛成 ●：賛成でない

陳情・請願・意見書

請願・陳情名	請願・陳情者	要旨	委員会の意見・結果	付託委員会	本会議
小方小学校移転跡地に「公園」設置陳情	小方一丁目南自治会 会長 飯森 仁志 小方一・二丁目北自治会 会長 柴崎 雅文 小方二丁目自治会 会長 木本 光彦	①地区自治会の各種イベントが出来る広場であること ②幼児～高齢者までが利用できる広場であること ③小方小学校跡地としてのモニュメントを設置すること ④災害対策本部が設置された際の第2次避難場所の新規指定	旧小方小・中学校跡地の利用の動向を踏まえて審査する必要がある 【継続審査】	小方地域まちづくり対策特別委員会	継続審査
「高齢者が地域で活躍できる場の拡大に取り組むシルバー人材センター」への支援に関する陳情	公益社団法人大竹市シルバー人材センター 理事長 松崎和生 ほか12人	①シルバー人材センターへの補助金と公共事業の発注の確保 ②シルバー人材センターの拠点施設の整備	採択 :移転した後の土地活用も図られ地域の活性化につながる 不採択 :賛成しても具体案がないのでできない。一旦不採択とすべき 【採択】	生活環境委員会	採択
大竹駅東口広場整備事業の早期実施についての陳情	大竹市身体障害者福祉協会 会長 杉本守正 ほか2人	①「大竹駅東口広場整備事業」について一日も早い、本格的工事の実施と早期完成 ②現大竹駅施設内に本工事に先駆けて障害者や高齢者に優しい昇降用エレベーターの設置	採択してもエレベーターだけを設置する可能性はない 【不採択】	生活環境委員会	不採択

～本会議での討論～

●高齢者が地域で活躍できる場の拡大に取り組むシルバー人材センターの支援に関する陳情

【不採択とすべき討論】

「市の財政状況も厳しい中、お金が無くなれば市にお願いするというやり方は変え、自らの収入財源を確保する経営努力をしてもらいたい」
「給食サービスについて児童生徒が減少し高齢化が進む中、給食センターもでき、行政との連携をしっかりと煮詰めてから陳情を吟味したい」

【採択とすべき討論】

「補助金と公共事業の確保や施設改善の必要性は十分理解できる。合わせて、同居のさつき作業所の検討、跡地活用における周辺の活性化を図れるから採択すべき」

特別委員会の活動

小方地域まちづくり対策特別委員会

本特別委員会は、市の発展に重要な役割を果たすと考えられる小方小・中学校移転後の跡地を中心とした小方地域のまちづくりについて積極的に議論するために昨年9月に設置されました。

第五次大竹市総合計画後期基本計画には、小方地区のまちづくり事業として「JR新駅を核とした魅力的なまちづくり」が掲げられています。

新駅設置に向けた動きが加速する中で、本特別委員会では、「和木駅設置の経緯とその後の効果について」をテーマに、平成28年2月23日、和木町役場にて先進地事例の調査・研究を行いました。

和木町では「平成8年にJRへ新駅の要望をしてから協定書締結まで10年余りと大変長い時間がかかっている」といった駅設置の過程や「請願駅の場合は維持管理や周辺のインフラ、道路整備を含めて100%地元負担となる」といった設置における財政面での課題、また「庁内に担当課を作り専門的な交渉をしていかないと話が進まない」

といった行政面での課題等について伺うことができました。

調査後の委員会では「住民サイドの盛り上がりに加え、市のほうの本気度が必要である」「駅と小方まちづくりは一体不可分なものではないか」「特別なセクションを設けて市の態勢、つくりをしていくことをこの委員会から市のほうにお願いをしていく等、具体的に次に何をするのかということをしつかり協議をしながら進めていくべきである。スピード感を持った対応をしていく必要がある」といった意見がありました。

今後は他の市町の事例についても調査・研究しながら、委員会として、どういったことに取り組めばいいのかを検討してまいります。



基地周辺対策特別委員会

昨年の9月に設置された本特別委員会では、月1回の会議の他、調査活動として各地に赴いて情報の共有を図っています。

○平成27年12月15日

阿多田島聞き取り調査

市内で最も航空機の騒音被害が大きいとされている阿多田島の自治会や漁協の皆さまから騒音や米軍機飛行の状況、日々の生活や漁業への影響などについてお聴きし、戦後70年間に及ぶ我慢や防音工事の不完全性などの実態を委員で共有しました。

国からの再編交付金は平成33年度までとなっているが、これに納得することなく国への要望活動を続けて欲しいとのご意見をいただきました。

○平成28年1月18日

岩国市議会行政視察

まさに米海兵隊基地が設置されている岩国市に、基地対策行政についてあらためて調査にうかがいました。

市基地政策課から説明があり、また、岩国市議会議長との意見交換をさせていただきました。岩国基地でのNLP(夜間着陸訓練)実施の可能性排除を申し入れつつ、財政支援を受けて安心安全対策を進めながら積極的に容認するべきと市長に進

言しているところであるとお話をうかがいました。

○平成28年2月16日

和木町議会との情報交換会

大竹市と同じ岩国市周辺自治体の取り組みを調査するため、隣接の和木町にうかがいました。

和木町では特に議会で専門の部署を設置していないため、和木町議長のお取り計らいで議員有志との情報交換となりました。

主には再編交付金の使途や平成33年度以降継続に向けての共同歩調について確認しました。また山口県と2市2町の連名で昨年8月に国に対し提出された「基地に関する要望書」の作成についてお話をうかがいました。

本委員会では、しばらくは委員会での調査を進めて情報の質の向上・共有を図り、今後、市民生活の安定と向上のために国への要望活動につなげていきたいと考えています。





寺岡 公章

- 幼児期での基本的な生活習慣の定着について

末広 和基

- 地方自治体の行政組織を取り巻く環境が大きく変化する中、組織風土の変革を担うべき職員の皆さんへの基本的な教育方針を伺います
- 統一的な基準による地方公会計制度の概要と、当市の取り組み状況をお伺いします。

賀屋 幸治

- 中浜緑地の土地活用について
- 立戸2・3丁目 JR沿いの道路整備について

原田 博

- 安定した行財政運営に向けて、大竹市平成28年度当初予算案の位置づけ、将来展望を問う。

山崎 年一

- 学校給食の無料化で子どもたちがいっぱいのもちづくり
- 子ども医療費の完全無料化について

日域 究

- 議会説明は正しく正確に偽りなく。そこで過去の検証を
- 市営住宅 LPG 料金と、御園市営6号棟問題。違法でなければ全て OK? 住みやすいまちづくりなくして、人口ビジョンは語れません。

大井 涉

- 「後期基本計画」と「まち・ひと・しごと創生総合戦略」の中でも、大竹を愛する人づくりと定住促進施策について問う。
- 地域コミュニティの拠点であった、小中学校5校が廃校になった。社会教育施設の再編も、総論・各論が提示された。具体論を問う。

山本 孝三

- 大竹市財政状況・見通し、国の地方財政計画を伺う
- 貧困と格差が社会問題になっています。市の取り組みを伺う
- 介護保険制度の「改正」後の取り組みについて

質問者 寺岡 公章

幼児期での基本的な生活習慣の定着について

問 小1プロブレムは就学直後の教育の場を揺るがし、子ども達の学習機会を奪う大きな課題であり、解決に向けた努力を惜しんではいけません。現在実施されている、乳児のいる全家庭を訪問する「こんにちは赤ちゃん訪問事業」は、子育て世帯の懐に公が入る事を許されています。

また、高受診率である月齢年齢に応じた各健診は、保護者と行政の接点を持つ事業です。これらの主たる目的が「母子の健康・保健」であることは重々承知していますが、その上で、実施率、受診率の高い母子保健事業において、幼児期での基本的な生活習慣の定着をご家庭に対してアピールし、理解を深めていただくという目標を加えることはできませんか。

し、子どもの発達、発育状況や保護者の育児状況を確認し、育児の不安や悩みに対応しています。また、乳幼児健診では、医師による診察や保健師等による健康相談などの個別相談以外に、離乳食の進め方や歯磨き習慣の説明など、時期に応じた事項を取り上げ、集団指導を実施しています。

「こんにちは赤ちゃん訪問事業」と乳幼児健診は、いずれも高い実施率で、保護者への啓発の機会として有効に実施できていると考えています。今後、これらの機会を活用して子どもの成長とその先を見据えた基本的な生活習慣の定着に向け、啓発していきます。

答 こんにちは赤ちゃん訪問事業として、保健師または助産師、民生委員・児童委員が各家庭を訪問



乳児健康相談風景

質問者 末広 和基

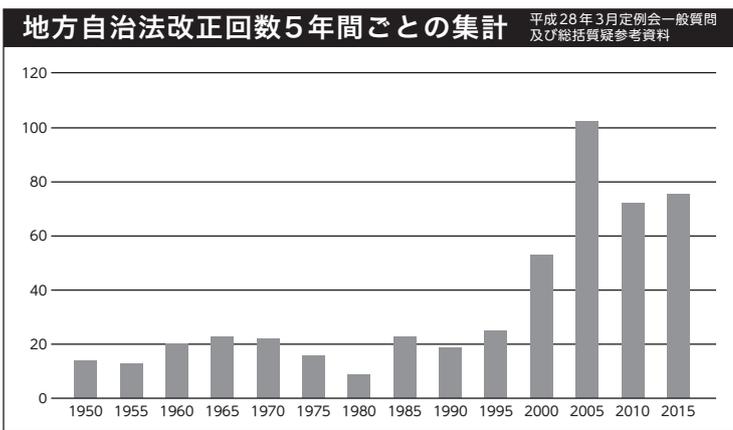
組織風土の変革を担うべき職員への、基本的な教育方針を伺います

問 過去70年の地方自治法改正履歴グラフが表すように、ここ20年の大きな変革は地方行政に新しい時代を感じます。行政組織の風土特性を踏まえた上で、この変革期をチャンスとし、自律的かつ戦略的な組織行動が求められています。

答 限られた資源と時間の中で、複雑な課題の解決を要求されています。その担い手でありかつ財産である行政職員を育てるための、育成教育方針を伺います。今までの経過を含め、来るべき未来への長期的視点をもってご答弁をお願いしたい。

答 地方分権社会への対応のため、行財政改革の実施計画を策定し、実施しています。従前からの行政サービスの効率化と簡素化による手法だけに頼らず、限られた人材、財源を有効に使い持続可能な行政を実現することで、総合計画を確実に実施していくという目的で基本方針を定め、取組を展開しています。

行財政改革とは別に厳しい時代を乗り切るために、平成17年4月に人材育成基本方針を策定し、職員の能力向上に取り組んでいます。さらに、来年度からの人事評価制度導入に向け、今年度は試行をしています。一人ひとりの職員が目標の達成に向け努力することで、組織目標を達成し、市民サービスの向上につながることを期待しています。



【その他の質問】
○ 統一的な規程による地方公会計制度の概要と、当市の取り組み状況をお願いします

質問者 賀屋 幸治

中浜緑地の土地活用について

問 中浜緑地は三井東圧化学の時代に石油コンビナート等災害防止法により緩衝帯として高さ8mの防災堤が築造されたが、三井東圧撤退後30年が経過し、その役割の見直しをする時期が来たのではないか？地域の活性化に向け沿道型商業地などの有効な土地活用が図れないかを問う。

答 中浜緑地の都市緑地としての機能は変わっており、撤去や他の用途への変更にあたっては整理すべき課題が多くあり、早期に撤去することは難しいと考えます。当該緑地やその周辺の土地の活用については長期的な視点に立ち検討していくべきと考えます。



立戸2・3丁目JR沿いの

道路整備について

問 旧国鉄時代の引込線用地であったJR沿いの土地(500m×4m)は、現在は市有地となっている。新年度予算において立戸地区浸水対策として雨水排水施設の調査設計業務を発注する際には今後の道路整備計画を考慮した設計になるのかを問う。



答 このたびの雨水排水施設整備に関する調査設計は、緊急的な緩和措置として取り組むもので、道路整備を含めたものではありませんが、将来的にその可能性も考慮し、雨水排水施設の整備を検討していきたいと考えています。

質問者 原田 博

平成28年度予算案の
位置付け、将来展望を問う

問 今予算案には、大竹市総合戦略に示された基本目標2 若い世代の結婚・出産・子育ての希望を叶える。基本目標3 誰もが健康で生きがいをもち安心して暮らせる地域の実現などが、定住対策や子育て支援策として、多岐に亘り、盛り込まれています。特に、国の人口減少が顕著になってきた現在、人口増に至らなくても人口が減っていくスピードを落としていく施策の展開は大切です。

ついては、①予算案の位置付け、将来展望 ②今後の本市の発展には、企業存在は不可欠であり、その基盤づくりとしての大竹港の機能強化 ③併せて、人づくりに向けた教育内容の充実・改革及び今後の教育費のあり方を問います

答 予算案には総合戦略の基本目標達成のための事業を盛り込みました。人口減少が想定されるなか、まちの魅力向上を、一方で皆様に我慢

をお願いするという難題に挑み、安定した行財政運営により、夢や希望が持てるまちにしたいと考えます。

大竹港の機能強化は、本市の企業が生産拠点や研究所として活発な生産活動を継続できるよう、将来を見据え、道筋を立て、今できることに取り組む必要があると考えています。

人づくりでは、「大竹を愛するひとづくり」を、まちづくりのエンジンと位置づけています。

(教育長答弁)

子どもが大竹に誇りや愛着を持ち、将来は大竹で働き、住もうと思えるよう、教育施策を推進していきます。



質問者 山崎 年一

学校給食の無料化で子どもたちが
がいっぱいのまちづくり

問 全国の自治体が「人口ビジョン」を作成し、若者の就労・子育て支援や定住促進に取り組んでいます。子育てしやすい環境を整えるための給食の無料化が必要と考えます。議会は、平成22年12月学校給食無料化についての決議を全会一致可決しました。決議に対する市長の姿勢を問う。

答 妊娠から出産・子育て・教育に至る子育て支援策はやりたくても全てを行えないのが現状です。すぐに学校給食を無料化することは考えていませんが、周辺市町の動向や導入の効果を注視していきたいと考えています。

子ども医療費の
完全無料化について

問 子ども医療費助成を18歳年度未迄拡大し、一部負担金廃止を求めます。子育て世代が、負担を気

にせず医療を受けられ早期発見・早期治療が進み、次の「子育てに挑戦」する気概を養います。若者の子育て支援に必要な施策です。

答 無料化することで軽微な症状での受診や、同じ薬の受取につながるため、医療費の増加が懸念されます。本市では、少しでも長く子どもの健全な成長と安心した生活を送れるような制度とするため、一部負担金を残した形で、年齢を中学生まで拡充し、所得制限を撤廃しました。

対象年齢		通 院	
		通 院	入 院
対象年齢	就学前	396	154
	9 歳年度末	83	40
	12 歳年度末	240	275
	15 歳年度末	831	1,103
所得制限	18 歳年度末	155	164
	あり		393
自己負担	なし		1,349
	なし		984
実施市町村総数	一部あり		758
		1,742	1,742

質問者 日域 究

市営住宅のプロパンガス問題

問 御園市営住宅は棟別に違う業者がガスを販売しています。しかし業者により料金に大きな差があると同時に基本料金もm当たりの料金も示されています。自由価格であるLPガスですが、業者に自由はあっても消費者に自由はありません。大家さんとして市はどう対処されますか。

答 応募受付期間中に関心を示した業者は1社だけで、ほかに応募者が見込めない中、応募後すぐにプレゼンテーションを行う日程では、応募を断念せざるを得ないという状況下、プレゼンテーション以降の日程を変更したところです。募集要項を正式に変更し、その旨を公告しました。日程を変更した事実については、議員全員協議会において説明しています。

募集期間中にその募集要項が密かに変更され、事後の議会説明でも担当部長は一切その説明をしていません。募集期間中に要項を変更した理由を尋ねます。

答 現在は、市営住宅へ入居する際にお渡しする入居のしおりに、各棟のガス業者名をお知らせしています。今後、さらに早い段階でガス料金の問い合わせができるよう新規入居の募集の際にガス業者の名前を明示する対応を行います。

3回目の大願寺造成地
売却の件で

問 平成22年実施の3回目の公募では応募した業者が後に辞退した、との説明でした。しかし、

大 竹 市		文書分類番号
決 裁 区 分	保存年限	類
(市長)・副市長・部長・課長	浄書:(起
起案 平成 22年 10月 22日		都市環
決裁 平成 22年 10月 25日		職 名: 課
施行 平成 22年 9月 2日		氏 名:
完結 平成 22年 7月 2日		指 示
決 裁 合 議 (決裁)		
(市長) 副市長		
(入山)		
主 管	このことについて、次のとおり 変 更 してよろしいですか。	
	大願寺地区造成地の土地売払いについて、平成22年9月30日付けで募集要項を制定し募集公告を行ったが、事情によりプレゼンテーションの日程を延期するため、別紙のとおり募集要項の関連部分の記載を変更するもの。	
	(変更箇所)	
	① IV-1. 事業実施者選定の手順中、プレゼンテーション、事業実施者の決定及び土地売買仮契約の締結の日程を「平成22年11月予定」とする。	

質問者 大井 涉

「総合計画」など「大竹を愛する人づくり」について問います

問 旧大野町に、人口で昨秋追い抜かれました。大竹市は製造業を中心とした企業城下町で、従業者数は減り続けています。人口を増やすことは至難の業。いま住んでいる人を大切にすればか定住策はありません。ましてや「大竹を愛する人づくり」など行政で出来るのですか。

大竹市には3館だけです。再編計画各論では、1館減らして2館にする予定です。人口減少、過疎化の中で市民ふれあいの施設は必要です。避難箇所にもなっている施設、地域の有り様が見えてきません。廃校5校地域の振興策も見えてきません。

答 学校や公民館は地域の活動拠点です。しかし、限りある人的、財政的資源で従来と同様の施設を維持し整備することは困難です。ないものを嘆くのではなく、地域が活力を持ち続けるため一緒に知恵を絞り、汗をかき、取り組むしかないと考えます。

答 「よいまち」の実現には、自分たちのまちは自分たちでつくるという、皆様の自覚と実行力が不可欠です。その根底となるのは大竹を愛する思いであり、施策の推進力として働きかけることは当然と考えます。将来に夢と希望が持てるよいまちを一緒につくりあげたいと考えます。

廃校後の地域振興策、社会教育施設の再編について問います

問 公民館は、竹原市には13館、廿日市市には20館あります。現在



質問者 山本 孝三

国の地方財政計画と
市の財政運営について

問 税収の増加を前提に、新規事業や開発事業が予定されているが、市の税収増の見通し根拠について、またこれまで大型事業による借金が市民生活に影響を与え、市財政運営に重荷となっていること、大願寺山造成事業に係る借金残高、完済の時期を示し、市民のくらし優先の財政運営を求め、市長の姿勢を伺います。

答 財政状況は、引き続き厳しい見通しです。大願寺関係の市債残高は一般会計と特別会計あわせて約98億円で、償還は特別会計が平成43年まで、一般会計が平成57年度に終了の見込です。財政規律を保ちながら行政運営を心がけます。

介護保険制度について

問 昨年制度が変わり、要支援1・2が保険適用外となり、今、

また、要介護1・2も生活支援など除外されようとしています。要支援者への対応・施設の拡充・負担軽減など、これからの取り組みを伺います。

答 新しい「介護予防・日常生活支援総合事業」の開始に向けて、ボランティア団体等が行うサロンや自治会などへ働きかけを行います。軽度認定者の援助は、今後も国の動向を注視しながら、また、施設の拡充は第7期計画の策定時に、民間の動きにも注目しながら、検討していきたいと考えています。



【その他の質問】

○貧困と格差が社会問題になっています。市の取り組みを伺う。

議会日誌

2月～4月

- 2月 8日 総務文教委員協議会
- 9日 生活環境委員協議会
- 小方地域まちづくり対策特別委員会
- 10日 全国高速自動車道市議会協議会（東京都）
- 12日 全国市議会議長会
- 産業経済委員会
- 24日 議員全員協議会
- 議会運営委員会
- 26日 議会改革調査会
- 広報広聴特別委員会
- 生活環境委員政策研究会
- 3月 2日 本会議
- 総務文教委員会
- 総務文教委員政策研究会
- 3日 生活環境委員会
- 生活環境委員政策研究会
- 生活環境委員協議会
- 4日 基地周辺対策特別委員会

- 小方地域まちづくり対策特別委員会
- 9日 本会議
- 11日 本会議
- 予算特別委員会
- 14日～16日 予算特別委員会
- 18日 基地周辺対策特別委員会
- 23日 議会運営委員会
- 25日 本会議
- 議員全員協議会
- 議会運営委員会
- 31日 広報広聴特別委員会
- 4月 11日 広報広聴特別委員会
- 14日 広島県市議会議長会
- 15日 生活環境委員政策研究会
- 26日～27日 中国市議会議長会（松江市）
- 【視察来訪】
- 2月 10日 嘉麻市議会
- まち・ひと・しごと創生総合戦略について
- 18日 海田町議会
- 市制60周年記念事業について

議会報告会のご案内

大竹市議会では、議員が地域にお伺いして議会活動を直接報告し、市民の皆さまとの意見交換を行う議会報告会を開催いたします。

以下の日程で行いますのでご都合のよい会場へお越しください。多くの皆さまのご来場を心よりお待ちしております。

1. 開催日程と会場

日 程	時 間	会 場	担当班
5月10日(火)	19:00~20:30	防鹿集会所	A班
		サントピア (2階会議室)	B班
		エスポワールおおたけ(大竹会館 2階中集会室)	C班
5月12日(木)	19:00~20:30	立戸公民館	A班
		玖波公民館(2階研修室)	B班
		小方公民館(1階第1研修室)	C班
5月14日(土)	18:30~20:00	阿多田島漁協(3階大集会室)	A班
	14:00~15:30	農林振興センター(2階大集会室)	B班
		松ヶ原集会所	C班

議員が3班に分かれ、各地域にお伺いいたします。

A 班	
班 長	寺岡公章
副班長	和田芳弘
	賀屋幸治
	北地範久
	山本孝三

B 班	
班 長	網谷芳孝
副班長	藤井 馨
	末広和基
	大井 涉
	日域 究

C 班	
班 長	細川雅子
副班長	田中実穂
	西村一啓
	山崎年一
	原田 博

2. 議会報告会の内容 (予定)

- 平成28年度予算議案 審議報告 (抜粋)
- 平成28年3月定例会議案 審議報告 (抜粋)
- 意見交換会



議会を傍聴しませんか

市議会では予算や条例をはじめ行政に対する一般質問など、住みよいまちづくりをめざして審議をしています。

本会議、委員会とも傍聴できますので、議会がどのように運営されているか傍聴してみませんか。手続きは、所定の用紙に住所・氏名などを記入していただきます。ぜひ、お越しください。

6月議会日程 (予定)

本会議	6月13日(月)
(予備日)	6月14日(火)
常任委員会	6月15日(水)
〃	6月16日(木)
特別委員会	6月17日(金)
本会議	6月27日(月)



第12回のインタビューは、「ストーンアート」作成をした
大竹中学校 美術部の部員さんです。



部長
吉村瑞葉さん



副部長
永野朋花さん



副部長
松岡ほの香さん

第12回
スマイルインタビュー



このたびは、大きな石に「こいちゃん」の絵を描いてストーンアートを作られたのですが、これまで作ったことがありませんか？

初めてです。

どのような感じで描いたのですか？



ストーンアート(こいちゃん)

まず構図を作成し、ストーンアートの石に似た形の小さな石に絵を描いてみました。その後実際に石に下絵を描いた後に色を塗り仕上げました。

普段は作品づくりの時に共同で作業することがないので、面ごとに担当を決めて作業しました。

難しかったことはありますか？

こいちゃんを描くことと、描くための石が決まっていたので、石に合わせてこいちゃんの絵の形をとらなければいけないことや、人によって絵の具の濃淡が違うので色を合わせるのが難しかったです。

でも塗っているうちに、だんだん慣れて楽しくなってきました。

また作ってみたいと思いますか？

やってよかったなと思っているので、機会があれば作ってみたいですね。石の形を活かしやすいので、描くなら動物を描いてみたいと思います。



ストーンアートの今後の管理について何か考えがありますか？

色あせたストーンアートをみると悲しくなるので、後輩たちに描き方などノウハウを伝えてメンテナンスができるようにしていきたいと思っています。それに、私たちが高校生になっても中学校に来て伝えることはできると思います。



あとがき

多くの市民の皆さんと協議検討を進め、まちづくりの未来を表現した第5次大竹市総合計画の一部が見直され、後期基本計画としてスタートしています。併せて策定されている大竹市まち・ひと・しごと創生総合戦略により、具体的な事業がおり込まれた、平成28年度予算が執行され既に1ヶ月が過ぎました。

平成の大合併時期から大きく変化し続けている、地方自治。行政組織も様々な制度変更を伴い、変革が続けています。

わたくしたち議会も今をチャンスとして、変わり始めています。昨年からは議会報告会をスタートして、本年度も回を重ねる準備が進んでいます。議会改革を推し進めることで、行政・議会がそれぞれの役割を深めつつ、これからの大竹市を創り上げていきます。

議会の役割は、予算や決算の審議だけではありません。いよいよ時期が迫っている岩国基地への艦載機部隊の移設に関する特別委員会や小方小学校の跡地利用や小方駅(仮称)構想などを議論する小方まちづくり委員会などを通じ、深く未来を見つめています。

ぜひとも、議会報告会や本会議、特別委員会などに触れていただき、変わりつつある大竹市の未来と一緒に創り上げていきましょう。

広報広聴特別委員

委員長 山崎年一
副委員長 和田芳弘

和 田 芳 弘
末 広 和 基
賀 屋 幸 治
北 地 範 久
西 村 一 啓
日 域 究

発行・平成28年5月1日 大竹市議会

広島県大竹市小方二丁目11-1

Tel 0827-5912183

市議会だよりは市ホームページにも掲載しています。